



年間予定 平成26(2014)年度

詳細は、当館ウェブサイト、チラシ、市民しんぶんなどで順次お知らせします。

学校歴史博物館 検索

展示

企画展 7月4日[金] - 9月30日[火]

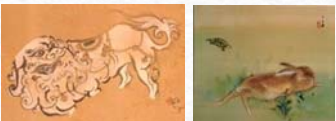
絵画にたくす こどもへのメッセージ



引札「二宮金次郎」、大正期 月岡芳年《獨逸修身歌》(ビエールの伝) 明治17年 元日彫刻権開展

企画展 10月3日[金] - 12月16日[火]

絵描き村と学校一衣笠に伝わる名画一



入江遼光《獅子図屏風》 元禄朝小学校蔵 豊村五郎《雄獅大衆》 元禄朝小学校蔵

企画展 12月20日[土] - 3月29日[日]

京都の高等女学校と女学生

催し ※参加申込が必要です。

夏休み開催

7月19日(土) 午前10時-午後12時 明治の小学校 書写教室

7月20日(日) 午前10時-午後12時、午後2時-4時 博物館たんけんたい

7月26日(土)・8月2日(土) (いずれも1日) 各日 午後1時30分-3時30分 おもちゃの手作り教室

7月27日(日)・8月3日(日) (全2回連続教室) 両日 午後1時30分-3時30分 にほん画に挑戦!

冬休み開催

12月21日(日) 午前10時-午後12時、午後2時-4時(いずれも2回) 親子で和風作りに挑戦!(仮) ※小学生と保護者対象

8月10日(日) 午後2時-3時30分 講演会 「近代の吉祥と子ども: 正月用引札に描かれた少年・少女たち」 講師:熊倉一紗 (京都造形芸術大学非常勤講師)

その他、各企画展のテーマに沿った講演会・子ども向け体験教室を開催予定

子ども体験教室(小学生対象)

企画展関連講演会・体験教室

第3[火] 午後2時-3時(8月を除く) 上村淳之館長談話室

[月] 午後2時-4時 唱歌・童謡教室

[火・金] 午前10時-12時30分 はじめての日本画 ※会は10月から新規開講

[火] 午後2時-4時30分 日本画教室

平成27年4月2日(木)-4月6日(月) 作品発表会

[木] 午後2時-4時 初級者のための合唱教室

9月12日・19日・26日[毎金曜] 午前10時-11時30分 古文書を読む ※後期は2月に開講予定

2月頃開催予定 日本刺繍教室

教室・講座(一般対象)

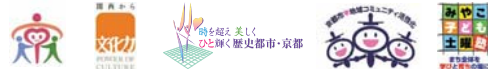
京都市学校歴史博物館

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437
TEL:075-344-1305 FAX:075-344-1327
http://kyo-gakurehaku.jp/
rekihakujigyou@edu.city.kyoto.jp

当館は、京都の学校の歴史に関する資料の保存・研究・展示をすすめる博物館です。正門・石塀は、国登録文化財。



開館時間	午前9時 - 午後5時(入館は4時30分まで)
休館日	水曜日(祝日の場合は翌平日)、12月28日 - 1月4日
入館料	一般200円(160円)、小・中・高生100円(80円) ※()内は20名以上の団体料金 ※京都市内の小・中学生は土・日曜日の入館無料
交通案内	◆阪急電車「河原町」下車 徒歩約10分 1番出口より南西へ ◆地下鉄丸太線「四条」下車 徒歩約12分 5番出口より東へ ◆京阪電車「祇園四条」下車 徒歩約15分 3番出口より南西へ ◆バス「四条河原町」下車 徒歩約10分 南西へ ◆バス「河原町松原」下車 徒歩約5分 北西へ ※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



※正門(御幸町通側)からお入り下さい。



京都市学校歴史博物館だより

学歴博しんぶん



京都市

Vol.28

発行:平成26年7月 京都市学校歴史博物館



絵画にたくす こどもへのメッセージ

7/4(金)-9/30(火)



三尾興石《猛虎慈愛図》元梅屋小学校蔵



「小学教科双六」部分(返場) 明治30年



「幼年畫報 第2巻第9号」 明治40年発行



『東京オリンピック記念屏風』(部分) 元豊園小学校蔵

明治になり、近代教育の考え方が本格的に広まると、「子どもにこそ良い文化を」という意識のもと、画家や小説家など当時を代表する文化人が「子ども向け」の作品を多く手掛けた。本展では、歴史や童話を題材に教訓が込められ、学校に寄贈された絵画や明治期に創刊された輸入りの児童雑誌など、子どもへのメッセージのつまった作品を展示します。いずれも華やかで楽しいものばかり。昔の子どもたちを魅了した学べる絵画をお楽しみください。



森 光彦 学芸員



絵描き村と学校 - 衣笠に伝わる名画 -

10/3(金)-12/16(火)



加藤英舟《秋夕青戸》 衣笠小学校蔵

衣笠は、大正時代から昭和にかけて多くの画家がアトリエを構えたことで知られ、地域の学校には画家たちが寄贈した絵画が多くのこります。本展では、学校所蔵の日本画など衣笠ゆかりの作品を紹介し、創立140周年を迎えた衣笠校を中心に、衣笠の画家たちと学校との関係を探ります。



京都の高等女学校と女学生

12/20(土)-3/29(日)



1895(明治28)年頃 京都府高等女学校

戦前の女子中等教育は、主に高等女学校が担っていました。現在の中学1年から高校1(または2)年生にあたります。本展では、京都市における高等女学校と、そこに通った女学生に関する資料を展示いたします。



学歴博のなかまたち

富岡鉄斎《魁星図》 明治21年 嵐山小学校蔵

ここに描かれているのは一体何者でしょうか？髪の毛は逆立って、岩のごとくごつごつした体。雲に乗り、空から舞い降りてきます。実はこれ、神様なのです。魁星（かいせい）という中国の神様で、空に輝く北斗七星の化身。昔から、よく鬼のような姿で描かれてきました。昔の中国では科擧（かきよ）と呼ばれる、役人になるための試験がありました。その試験を受けた人たちは合格することを願ひ、この魁星を試験の神様として願ひをたくしたのです。

ここに紹介した作品は、明治時代に画家の富岡鉄斎（とみおかてっさい）が描いたもので、嵐山小学校に伝えられてきました。鉄斎は子どもたちが勉強を頑張るようにと、試験の神様を大きな画面に描き、学校に贈ったといわれています。昔の子どもたちはテストで良い点が取れるように、この絵にお願いしていたのかもしれませんが。

【学芸員：森 光彦】



「こんにちは、市民学芸員です」

市民学芸員の「日誌」から、ある日の館内の様子をご紹介します。日誌では、市民学芸員の皆さんがその日に気づかれたことをご自由に書いていただき、当館スタッフとやり取りしています。

5/6(火)

ゴールデンウィーク最終日。午前も午後も賑わいました。休日にご家族揃って博物館巡りというお客様、羨ましい限りです。ピカピカの一年生の坊やが石盤いっぱい計算式を書いてくれました。NHK朝の連続テレビ小説『花子とアン』に登場した石盤とロウ石が一躍人気者ですね♪

【市民学芸員M】



5/25(日)

本日ご来館いただいた、昭和7年生まれとおっしゃるご年配のお客様。「自分は梅屋小学校の卒業生で、卒業時の集合写真では皆裸足だった。」ととてもお懐かしそうに展示をご覧になっていました。また、「今日で3回目とおっしゃる若い男性のお客様にもご来館いただきました。もっともっとこういった若い世代の方々にこそ、京都の学校の歴史を知っていただきたいですね。

【市民学芸員H】

歓迎！団体観覧

お客さまの人数・目的・学年などのニーズに合わせて、オリジナルの団体観覧メニューをご提案します。



学歴博日記

京都市学校歴史博物館での催しの様子をご紹介します。平成26(2014)年も、たくさんの皆さまのご参加をお待ちしています！

平成26年 3/22-23 [土・日]

一堂に会した歴史あるオルガンたちと贅沢な時間を

— 春休み子ども体験教室【足踏みオルガンを囲んで】 —

毎年春休み恒例の小学生を対象とした体験教室。今年度の目玉はなんと言っても、大小様々な5台の足踏みオルガンが一堂に会した『足踏みオルガンを囲んで』の講座でした(講師はリードオルガン奏者の大森幹子先生)。中には100歳を超える足踏みオルガンや、普段は展示されており触れることができないものもありました。懐かしい小学校の教室で足踏みオルガンを伴奏に昔の唱歌を歌い、子どもたちだけでなく保護者の方々にとっても贅沢な時間となりました。

【スタッフO】



平成26年 5/31 [土]

地域の誇り、学区のたからもの

— 御所南小学校創立20周年記念展示 —

5月31日、御所南小学校創立20周年を記念して行われた、『元9学区美術展』。梅屋、春日、城巽、龍池、竹間、銅駝、初音、富田、柳池の各学校が所蔵していた美術作品が、御所南小学校で一堂に展示されました。大きな屏風や立派な扁額、竹内鳳画や上村松園など、有名画家が手がけた作品が学校の音楽室に並ぶ姿は圧巻でした。「あ、これ北大路魯山人の壺や！すごいなあ」「私の学区にこんなあったんや！」それぞれの学区の宝物が、あらためて地域の皆さんの誇りになった一日でした。

【学芸員：森 光彦】



平成26年 6/1 [日]

全国初の学区制小学校 — そのルーツを知る

— 講演会【みんなで創ったみんなで育てた！—京都番組小学校の歩み—】—

6月1日(日)に開催させていただきました講演会「みんなで創ったみんなで育てた！—京都番組小学校の歩み—」は、実に90名近くの方にご参加いただきました。臨時席を設置した満員の会場で、「学びたい」という熱気に包まれる中、あつという間の2時間でした。講演後のアンケートでは、続編や定期開催、連続講座化を希望される声を多くいただきました。今後、できるだけご要望にお応えできればと考えています。

【学芸員：和崎 光太郎】



平成26年 6/5 [木]

音楽に学ぶ、本当に大切なものとは

— 新教室【初級者のための合唱教室】 —

6月より新たに初級者を対象とした合唱教室が誕生しました。講師には中谷幸治先生、伴奏には楠木朋子先生をお迎えし、約50名の受講者でのスタートです。練習初日、皆さんは少し緊張気味の表情でしたが、やはり歌声を出し始めると表情は徐々に和らぎ、一緒に歌えることの喜び、上達していく楽しさが身体から湧き上がっているようにも見受けられました。「音楽には形がありません。本当に大切なものは目には見えないんですよ」と言う先生の言葉が印象的でした。

【スタッフO】

